

平成22年度

主要事業の概要

市 民 局



目 次

ページ

I 平成22年度市民局 事業概要について	4
II 平成22年度市民局予算総括表	9
III 事業別内訳	
1 市民総務費（3款1項1目）	10
(1) 情報公開推進等事業	
(2) 市民情報センター運営事業	
(3) 個人情報保護推進事業	
(4) 行政文書検索システム運用事業	
(5) 事務管理費等	
(6) 人件費	
2 人権・男女共同参画費（3款1項2目）	11
(1) 人権施策推進事業	
(2) 男女共同参画推進事業	
(3) 男女共同参画センター運営事業	
3 広報広聴費（3款1項3目）	12
(1) 「広報よこはま」発行事業	
(2) テレビ・ラジオ広報事業	
(3) インターネット広報事業	
(4) シティプロモーション事業	
(5) 「ハマジン」協働編集事業	
(6) 季刊誌「横濱」協働編集事業	
(7) 「暮らしのガイド」協働編集等事業	
(8) その他広報事業	
(9) 市民の声事業等	
(10) 市民相談事業	
(11) 横浜市コールセンター事業	
4 市民協働推進費（3款1項4目）	14
(1) 身近な地域・元気づくりモデル事業	
(2) 地域活動推進費	
(3) 自治会町内会館整備助成事業	
(4) 地域活動支援事業	
(5) 特定非営利活動法人設立認証等事務	
(6) 市民活動支援事業	

- (7) 市民活動総合支援拠点事業
- (8) 市民力発揮推進事業
- (9) 協働推進事業

- 5 文化振興費（3款1項5目） 17
 - (1) クラシック・ヨコハマ推進事業
 - (2) 文化芸術による地域づくり事業
 - (3) 芸術文化教育プログラム推進事業
 - (4) 芸術文化支援事業
 - (5) 芸術文化振興財団補助金
 - (6) 文化施設運営事業
 - (7) 文化施設整備事業
 - (8) その他の文化振興事業

- 6 スポーツ振興費（3款1項6目） 19
 - (1) スポーツ関係団体支援事業
 - (2) スポーツ施設等管理運営事業
 - (3) スポーツイベント等開催事業
 - (4) 市民スポーツ振興事業

- 7 個性ある区づくり推進費（3款2項1目） 21
 - (1) 自主企画事業費
 - (2) 区庁舎・区民利用施設管理費
 - (3) んくもりある区民サービス向上支援事業
 - (4) 区役所嘱託員経費等
 - (5) 緊急雇用創出事業

- 8 戸籍住民登録費（3款2項2目） 22
 - (1) 戸籍住民登録事務費等
 - (2) 行政サービスコーナー運営事業
 - (3) 戸籍システム運用事業
 - (4) 戸籍システム関連業務支援拠点運営事業
 - (5) 住居表示整備等事業
 - (6) 魅力ある窓口づくり推進事業
 - (7) 住基法・入管法改正対応事業
 - (8) 証明発行サービス将来構想調査事業
 - (9) 緊急雇用創出事業

- 9 地域施設費（3款2項3目） 23
 - (1) 区庁舎整備事業
 - (2) 区庁舎等耐震性強化事業

- (3) 区庁舎設備等改修事業・敷地買替・床取得
- (4) 緊急雇用創出事業
- (5) 地域施設整備等事業
- (6) 上郷・森の家運営事業
- (7) 地区センター・公会堂等指定管理者選定事業
- (8) 子どもの遊び場遊具等予防保全事業

IV 参考資料

平成22年度 区編成予算(自主企画事業)

◎区編成予算区別状況一覧	25
◎鶴見区	26
◎神奈川区	27
◎西区	28
◎中区	29
◎南区	30
◎港南区	31
◎保土ヶ谷区	32
◎旭区	33
◎磯子区	34
◎金沢区	35
◎港北区	36
◎緑区	37
◎青葉区	38
◎都筑区	39
◎戸塚区	40
◎栄区	41
◎泉区	42
◎瀬谷区	43

この冊子の中での表記は、以下のとおりです。

【新】は、新規事業

【拡】は、拡充事業

【区】は、地域課題解決のため区の財源を活用し、局が予算を編成・執行する
区局連携事業

I 平成22年度市民局 事業概要について

予算額の概要

平成22年度の市民局の一般会計の予算規模は、394億63万円、対前年度43億708万円、9.9%の減となっています。

(単位：千円)

区分	平成22年度予算額	平成21年度予算額	増減
一般会計	39,400,638	43,707,720	△4,307,082 (9.9%減)

予算の重点

平成22年度の市民局の一般会計予算は、厳しい財政状況の中でも、施策・事業の選択と集中を図り、市民生活や地域での市民の活動を支援・充実させていくための事業など、次の5つの項目を重点として編成しました。

- 1 元気のある地域づくりや協働の取組の推進
- 2 横浜の活力と創造力を高めるスポーツ・文化芸術の振興
- 3 窓口サービスの向上と区庁舎等施設の安全確保や整備の推進
- 4 人権を尊重しあい、男女共同参画が進む社会づくりの推進
- 5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

主な重点事業

1 元気のある地域づくりや協働の取組の推進

地域の抱える課題が多様化・複雑化している中、いきいきとした地域コミュニティの形成に向けて、市民協働の推進、地域の活動支援や区役所の機能強化などに取り組みます。

(1) 身近な地域・元気づくりモデル事業の推進 [中期重点]

38,000 千円（前年度 44,409 千円） p.14

日常的な生活圏で、自治会町内会、NPOなど、様々な主体が協働して、福祉、防犯、まちづくり等の地域課題の把握・解決に向けての取組を進めるため、モデル地区を指定し、区・関係局が総合的に支援します。平成 22 年度は、モデル地区を 40 地区程度に拡大することを目指します。

また、市民主体の地域運営が持続可能となるために、仕組みづくりを進めるとともに、自治の視点に立った検討を行います。

(2) 市民活動総合支援機能の強化

特定非営利活動法人設立認証等事務【新規】

13,883 千円（前年度 10,070 千円） p.15

市民活動総合支援拠点事業 156,934 千円（前年度 92,673 千円） p.15

特定非営利活動法人(NPO法人)の設立認証等事務について、県から移譲を受け、平成 22 年度から開始しています。

また、横浜市市民活動支援センターにおいて、市民の創意工夫・活力を活かして総合的に市民活動を支援するとともに、瀬谷区民活動センターの移転に向けた整備工事を実施します。

(3) 個性ある区づくり推進費 自主企画事業費

※平成 22 年度から、これまでの一般事業費の予算区分を自主企画事業費に統合しました。

2,516,183 千円（前年度 2,969,671 千円） p.21

18 区役所で地域の特性やニーズに応じて、814 事業の多彩な取組を展開し、個性ある区づくりを進めます。

また、個性ある区づくり推進費の一部を活用し、局が予算を編成・執行する「区局連携事業」は、16 事業 82,715 千円（前年度 123,500 千円）を関係局予算に計上しています。

2 横浜の活力と創造力を高めるスポーツ・文化芸術の振興

地域でのスポーツ活動の支援を行い、市民スポーツの普及・振興を図り、市民の健康づくりなどを推進し、市民生活に活力を生み出します。

また、文化芸術活動による地域コミュニティの活性化を目指し、市民の主体的・創造的な文化芸術活動を支援するとともに、次世代を担う子どもの創造力を育みます。

(1) 市民スポーツの振興 [中期重点] (一部)

21,703 千円 (前年度 25,518 千円) p.20

誰もが身近な場所で気軽にスポーツ活動を行うことのできる環境をつくるため、学校、地域、スポーツ関係団体と連携して、総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ指導者の育成等に取り組み、地域スポーツの振興を図ります。

(2) 文化施設整備事業 1,481,591 千円 (前年度 3,229,123 千円) p.18

区民文化センターの整備を行います。

○鶴見区・緑区 (工事)、戸塚区 (設計)

(3) 子どもたちへの芸術文化教育プログラムの提供 [中期重点]

17,500 千円 (前年度 22,935 千円) p.17

次世代を担う子どもたちの市民力、創造力を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化を体験できる教育プログラムを、NPO、企業等とのネットワークにより実施します。

3 窓口サービスの向上と区庁舎等施設の安全確保や整備の推進

区民が安心して信頼できる区役所の窓口となるよう満足度向上に向けた取組を進めます。

併せて、地域の災害対策本部となる区庁舎等の市民利用施設について、安全で、区民に利用しやすく親しまれる施設となるよう、耐震補強やPFIによる建替え再整備等を行います。

(1) めくもりある区民サービス向上支援事業【新規】 100,000 千円 p.21

各区役所において、現場目線でめくもりのある行政サービスを実現するため、サービスの向上を実感していただける各区の取組を局として支援していきます。

※取組例

- ・高齢者や障害者、子ども連れの方など、どなたでも利用しやすい区庁舎などの環境整備
- ・区庁舎などの快適性や安全性の向上を図るための取組

(2) 区庁舎等の再整備・耐震補強工事の推進 [中期重点] (一部)

1,197,535 千円 (前年度 671,715 千円) p.23

区庁舎の整備や耐震補強工事等を行います。

○区庁舎再整備：瀬谷区(工事)、戸塚区 (設計、保留床取得)、港南区・南区(調査)

○区庁舎等耐震：西区・中土木(設計)、金沢区・緑区(調査)

(3) コミュニティハウス整備事業 345,035 千円 (前年度 532,629 千円) p.24

コミュニティハウスの整備を行います。

○鶴見中央・日野南・浅間 (工事)、別所・桂台 (設計)

(4) 子どもの遊び場の遊具の予防保全 5,000 千円 (前年度 5,000 千円) p.24

利用する子どもの安全確保を図るため、点検マニュアルに基づき、子どもの遊び場の遊具等の予防保全を計画的に実施します。

(5) 住基法・入管法改正対応事業【新規】 79,645 千円 p.22

住民基本台帳法(住基法)・出入国管理及び難民認定法(入管法)の改正(平成24年度施行予定)により、外国人住民を市町村の住民基本台帳に登載することなどが定められたため、住民記録システムの改修等に着手します。

4 人権を尊重しあい、男女共同参画が進む社会づくりの推進

市民一人ひとりが互いに人権を尊重する社会の実現を目指して、市民啓発、職員研修など人権施策を推進します。

また、男女共同参画社会の形成を目指して「よこはま男女共同参画行動計画」を着実に推進し、男女共同参画センター3館で具体的な事業を展開するとともに、働きやすい職場づくりの企業支援、女性に対する暴力防止に取り組みます。

(1) 「横浜市人権施策基本指針」の見直し【新規】 4,000 千円 p.11

人権啓発をはじめとする様々な人権施策をより効果的に推進していくために、平成10年度に策定した「横浜市人権施策基本指針」の見直しを行います。併せて、人権に関する市民意識調査を実施します。

(2) 男女共同参画推進事業 34,276 千円 (前年度 32,890 千円)

「よこはま男女共同参画行動計画」に基づいて、計画的に施策・事業を実施します。

また、現行の5か年の計画が平成22年度で終了するため、次期行動計画を策定するほか、配偶者からの暴力(DV)の防止に向け、DV基本計画を策定します。

[主な事業]

よこはまグッドバランス賞の認定・表彰事業所の拡大 [中期重点]

3,745 千円 (前年度 3,850 千円) p.11

女性の能力を生かし、男女ともに働きやすい職場づくりを積極的に進める事業所を認定・表彰し、その取組を広く紹介することで、他の事業所へ普及啓発を図ります。

女性に対する暴力根絶に向けた啓発事業の推進 [中期重点]

13,656 千円 (前年度 18,222 千円) p.11

市民向け暴力防止啓発キャンペーンのほか、若い世代を対象にデートDV防止講座を実施します。

5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

横浜のブランドイメージを高めるため、市内外への情報発信を効果的に行い、横浜の先進性や魅力を強くアピールしていきます。

また、横浜市コールセンター事業を実施し、市民サービスの向上を図ります。

(1) 「ハマジン」の協働編集 19,915 千円（前年度 19,906 千円） p.12

民間企業と協働で広報誌を編集し、年6回、地域情報や横浜のイメージアップにつながる情報を市内外に発信します。

(2) シティプロモーションの推進 13,829 千円（前年度 13,829 千円） p.12

民間鉄道会社2社との協働により、電車の広告枠を活用し、横浜の魅力や本市の先進的な取組、重要施策などを市内外に発信します。

(3) 横浜市コールセンター事業 197,111 千円（前年度 276,711 千円） p.13

市政や生活情報など多様な問い合わせを朝8時から夜9時まで年中無休で受け付けます。また、区役所の代表電話交換業務を代行します。

☆ 緊急経済対策への取組

昨今の経済状況の悪化に伴う対策として、本市では緊急経済対策を早急に進めていますが、その一環として、市民生活の不安などの解消に向けた市民相談の充実や雇用創出のための事業に取り組みます。

(1) 法律等特別相談の実施 2,505 千円（前年度 5,000 千円） p.13

市民の抱える問題の解決や生活の不安解消に向け、交通の利便性のよい場所などで、専門家による法律等特別相談を引き続き実施します。

(2) 緊急雇用創出事業 105,864 千円（前年度 51,706 千円） p.21、22、24

緊急雇用創出事業として、窓口サービスや区庁舎管理等に関する事業を市民局に予算計上しています。

① 市民局が実施する事業

1 事業 行政サービスコーナー利用者調査 3,773 千円

② 各区が実施する事業のうち市民局に予算計上している事業

17 区 21 事業 合計 102,091 千円

<参考>

各区が実施する事業の他局分を含む総計は、18 区 48 事業、348,240 千円です。

Ⅱ 平成22年度 市民局予算総括表

単位：千円

科 目	22年度予算額	21年度予算額	差引増△減	前年比 %	増減の主な理由
市民総務費	13,409,296	13,743,991	△334,695	△2.4	人件費 △325,949千円
人権・男女共同 参画費	738,538	750,848	△12,310	△1.6	横浜市男女共同参画推進協会補助金 △8,679千円
広報広聴費	869,082	1,020,174	△151,092	△14.8	横浜レング通信発行事業 △50,027千円 横浜市コールセンター事業 △79,600千円 広報よこほま発行事業 △24,863千円
市民協働推進費	1,548,161	1,514,368	33,793	2.2	市民活動総合支援拠点事業 (瀬谷区民活動センター移転整備等) 64,261千円増
文化振興費	4,099,558	5,957,142	△1,857,584	△31.2	鶴見区民文化センター整備事業 △1,744,532千円 横浜市芸術文化振興財団補助金 △29,628千円
スポーツ振興費	1,309,754	1,623,104	△313,350	△19.3	横浜市体育協会補助金 △142,271千円 開港150周年記念事業 △109,050千円
個性ある 区づくり推進費	14,696,277	15,183,065	△486,788	△3.2	自主企画事業費 △453,488千円 区庁舎・区民利用施設管理費 △113,056千円 ぬくもりある区民サービス向上支援事業 100,000千円増
戸籍住民登録費	985,869	967,207	18,662	1.9	住基法・入管法改正対応事業 79,645千円 魅力ある窓口づくり推進事業 △28,341千円
地域施設費	1,744,103	2,947,821	△1,203,718	△40.8	戸塚区庁舎整備事業 1,004,450千円増 区庁舎等耐震性強化事業 (港北区、保土ヶ谷土木の工事終了等) △554,820千円 地域施設整備等事業 (南、金沢地区センターの工事終了等) △658,420千円 地区センター等用地買替事業 △882,687千円
合 計	39,400,638	43,707,720	△4,307,082	△9.9	

Ⅲ 事業別内訳

1	(3款1項1目) 市民総務費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
		13,409,296	13,743,991	△334,695	0	0	6,680	13,402,616

市政に関する情報公開の推進及び本市が取り扱う個人情報の保護、人件費等庶務的経費等に要する経費です。

(1) 情報公開推進等事業 9,474千円 (前年度9,516千円)

ア 情報公開請求に対する行政文書の開示を行う情報公開請求制度を円滑、適正に運用するとともに、市政に関する情報の公表・提供や審議会等の会議の公開などを進め、総合的な情報公開を推進します。

イ 個人情報保護の趣旨を踏まえ、個人情報の開示、訂正、利用停止を行う個人情報本人開示等請求制度を運用します。

ウ 行政文書の開示請求や個人情報の本人開示請求等に対する決定についての不服申立てに係る諮問を審議する「横浜市情報公開・個人情報保護審査会」を運営します。
(横浜市の保有する情報の公開に関する条例、横浜市個人情報の保護に関する条例)

(2) 市民情報センター運営事業 15,764千円 (前年度12,328千円)

本市の情報公開の総合窓口として、市政に関する情報を広く提供するとともに、情報公開制度の説明や行政文書の開示請求及び個人情報の本人開示請求の受付、開示等を行う市民情報センターを運営します。また、市政に関する総合的な情報提供の一環として、市民情報センター内の刊行物サービスコーナーにおいて、本市等が作成した刊行物等の有償頒布を行います。

(3) 個人情報保護推進事業 3,961千円 (前年度3,959千円)

本市の個人情報取扱事務の委託や電子計算機処理等が適正に行われるよう審議する「横浜市個人情報保護審議会」や、本市の個人情報取扱事務を外部委員により実地に検査・評価する「横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会」を運営します。また、個人情報に関する市民・事業者からの相談に対応するなど、個人情報保護施策を推進します。
(横浜市個人情報の保護に関する条例)

(4) 行政文書検索システム運用事業 11,017千円 (前年度26,312千円)

文書管理・電子申請両システムとの連携により、行政文書の目録情報の検索及び検索した文書の開示請求をホームページ上から常時行えるシステムを運用します。

(5) 事務管理費等 8,902千円 (前年度5,749千円)

局全体の円滑な業務執行に資するため、庶務事務等に要する経費を計上するほか職員研修など人材育成を行います。

(6) 人件費 13,360,178千円 (前年度13,686,127千円)

市民局及び区役所戸籍課等の職員人件費です。

一般職員 1,435人

再任用職員 134人

2	(3款1項2目) 人権・男女共同 参画費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
		738,538	750,848	△12,310	15,720	0	9,678	713,140

人権及び男女共同参画に関する施策の企画・調整及び推進に要する経費です。
引き続き、平成18年度に策定した「よこはま男女共同参画行動計画」を着実に推進し、市民や企業との協働による男女共同参画推進のための事業に取り組みます。

(1) 人権施策推進事業 **47,400千円** (前年度46,145千円)

一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現を目指して、人権に関する施策の総合的な企画・調整を行うとともに、人権キャンペーンや講演会、広報よこはま人権特集号の発行等人権啓発事業、職員の人権啓発研修など人権施策を推進します。また、「横浜市人権施策基本指針」の見直しと人権に関する市民意識調査を行います。

(2) 男女共同参画推進事業 **34,276千円** (前年度32,890千円)

男女が互いに人権を尊重し、あらゆる分野に対等に参画できる社会を目指して、横浜市男女共同参画推進条例に基づく行動計画「よこはま男女共同参画行動計画」(平成18年度～22年度)により施策を総合的かつ計画的に推進します。

また、現行の行動計画の期間が平成22年度で終了するため、現在の社会状況、新たな課題等を踏まえ、次期行動計画を策定するほか、配偶者からの暴力(DV)の防止に向け、DV基本計画を策定します。

男女がともに働きやすく、子育て・介護がしやすい横浜の企業づくりの支援、女性に対する暴力の根絶に向けた事業の充実を図るほか、「女性ポテンシャル発揮プログラム」に沿って、庁内の男女共同参画を推進します。

ア 行動計画の推進等	10,368千円
イ 次期行動計画、DV基本計画策定	4,517千円
ウ よこはまグッドバランス賞 ～働きやすく子育てしやすい横浜の企業支援～	3,745千円
エ 女性に対する暴力の根絶に向けた事業 ～暴力防止キャンペーン、若者向け暴力予防啓発～	13,656千円
オ 庁内の男女共同参画の推進	1,990千円

(3) 男女共同参画センター運営事業 **656,862千円** (前年度671,813千円)

市内に3館ある男女共同参画センターを拠点として、女性の社会参画や自立に向けた支援、男性の地域活動や子育てへの参画など、男女共同参画社会の形成を目指した具体的な事業や、市民の自主的な活動の支援を、指定管理者制度のもと、展開します。

ア 男女共同参画センター運営費	548,760千円
イ 財団法人横浜市男女共同参画推進協会補助金	108,102千円

3	(3款1項3目) 広報広聴費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
		869,082	1,020,174	△151,092	135,994	0	21,820	711,268

広報・広聴相談事業等に要する経費です。

平成22年度は、各媒体を効果的に活用し、本市の施策や事業、さらに横浜の魅力を市内外へ発信します。

また、市民ニーズを把握する「市民の声」事業や、市民の問い合わせに対応するサービスを行う横浜市コールセンター事業など、効果的な広報・広聴事業を展開します。

(1) 「広報よこはま」発行事業 268,742千円 (前年度293,605千円)

本市の施策、事業等を市民へ周知するための市の基幹的な広報媒体として、「広報よこはま」市版を毎月1日に発行し、各世帯へ配布します。

(2) テレビ・ラジオ広報事業 117,743千円 (前年度120,725千円)

市政課題や生活情報を映像や音声を通じて分かりやすく伝えるため、テレビ・ラジオによる市政広報番組を毎週放送します。

(3) インターネット広報事業 11,550千円 (前年度8,000千円)

市民が必要とする情報を適時・的確に提供するとともに、より使いやすいホームページとなるよう、リニューアルを行います。

(4) シティプロモーション事業 13,829千円 (前年度13,829千円)

電車の広告枠を活用し、横浜の魅力や本市の重要施策を市内外に広報します。

(5) 「ハマジン」協働編集事業 19,915千円 (前年度19,906千円)

民間と協働で編集するフリーペーパー「ハマジン」を年6回発行し、地域情報や横浜のイメージアップにつながる情報を市内外に発信します。

(6) 季刊誌「横濱」協働編集事業 4,763千円 (前年度4,778千円)

郷土意識の醸成やシティセールスを目的として、横浜の魅力や歴史、地域・文化情報などを読みものとして掘り下げて紹介する季刊誌「横濱」を民間事業者と協働で編集し、有償で販売します。

(7) 「暮らしのガイド」協働編集等事業 9,113千円 (前年度9,496千円)

日常生活にかかわりのある市の制度、窓口、施設などの行政情報と、民間情報を合わせて掲載した生活情報誌「暮らしのガイド」を民間事業者と協働で編集し、転入者・希望者に配布します。

(8) その他広報事業 **154,486千円** (前年度149,835千円)

県の依頼を受けて「県のたより」を配布します。また、庁内報により市政の重要事項などを職員に周知し、庁内の情報共有化を図ります。

(9) 市民の声事業等 **25,243千円** (前年度28,371千円)

「ぬくもりトーク」や「市長の『おじゃまします』」など新たな集会広聴事業や、「市民からの提案」などの各種広聴事業を通じて市民の声を幅広く受け止め、市民ニーズを的確に把握して市政に反映します。また、広聴情報データベースシステムを活用し、寄せられた市民の声の施策反映事例や対応状況等についても積極的に公表することで、市政の信頼性・透明性を高めます。

こうした取組を通じて、市民から数多くの建設的な意見・提案が寄せられ、一層の施策反映を促す、広聴と施策の好循環を目指します。

(10) 市民相談事業 **46,587千円** (前年度44,891千円)

市政相談をはじめ、弁護士、司法書士、交通事故相談員等の専門相談員による相談を実施します。

さらに近年の経済状況などを勘案し弁護士、社会保険労務士等による特別相談を実施します。

(11) 横浜市コールセンター事業 **197,111千円** (前年度276,711千円)

市役所や区役所の各種手続、イベント、施設等の市政情報や生活情報など様々な市民からの問い合わせに、朝8時から夜9時まで年中無休で対応する横浜市コールセンター事業を実施します。また、区役所の代表電話業務の代行を行います。

4	(3款1項4目) 市民協働推進費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
		1,548,161	1,514,368	33,793	23,000	46,000	29,837	1,449,324

協働の取組の推進、市民活動及び地域活動の活性化に向けた支援の取組に要する経費です。

(1) 身近な地域・元気づくりモデル事業 **38,000千円** (前年度44,409千円)

自治会町内会や市民活動団体など、様々な主体が協働して地域課題の解決に取り組み、市民が主体となった地域運営を進めるため、モデル地区を指定し、区局で総合的に支援するとともに、仕組みづくりに向けた検討を進めます。

ア モデル地区の拡大・支援

モデル地区を40地区程度を目標に拡大するとともに、区及び関係局と連携してモデル地区を支援します。

イ 仕組みづくりに向けた取組

モデル地区の取組の検証を進め、持続可能な仕組みづくりに向けて、自治の視点にたった検討を進めます。

ウ 地域力向上に向けた取組の推進【区】

区が、より一層の地域力向上支援に取り組めるよう、区職員の人材育成等に取り組みます。

(2) 地域活動推進費 **1,157,901千円** (前年度1,157,871千円)

自治会町内会等が実施する公益的活動の経費の一部を補助します。

また、市町内会連合会・区連合町内会の運営支援及び地域活動への加入促進、活性化促進事業に対する支援を行います。

ア 自治会町内会 活動費の1/3助成(上限:700円×加入世帯数)

イ 地区連合町内会 活動費の1/3助成(上限:170円×加入世帯数+5万円)+12万円

ウ 市・区連合町内会 [団体運営費]1団体当たり110万円(上限)
[加入・活性化促進事業費]1団体当たり90万円(上限)

エ 自治会町内会加入促進「きっかけづくり」事業(1,000千円)

活動の担い手が増え、より活発な地域活動が行われるよう自治会町内会への参加を促進していきます。

(3) 自治会町内会館整備助成事業 **122,022千円** (前年度131,991千円)

自治会町内会が整備する会館の建設費の一部を補助します。

併せて、自治会町内会が公園内に整備する集会所の建設費の一部を補助します。

ア 補助率

建設費の2分の1

イ 補助の種類 [補助予定件数]

(ア) 新築(22年度は公園集会所の予定案件はなし) [10件]

(イ) 増築・改築 [6件]

(ウ) 大規模修繕(工事費1,000千円以上を対象) [15件]

(4) 地域活動支援事業

20,133千円

(前年度21,216千円)

地域活動の活性化に向けて、活動する市民を支援するための事業や、活動の状況調査等を実施します。

ア 災害ボランティア支援事業

災害時におけるボランティアの受入れ、派遣、情報の収集が円滑に行えるよう、災害ボランティア組織とのネットワークづくり、情報提供などの事業を実施します。

イ 市民活動保険

市民が安心してボランティア活動ができるよう、活動中に発生した事故に保険金を給付します。

ウ 活動調査等（自治会町内会活動に関する調査等）

(5) 特定非営利活動法人設立認証等事務【新】

13,883千円

(前年度10,070千円)

特定非営利活動促進法に基づく事務について、神奈川県から事務処理権限の移譲を受け、横浜市内にのみ事務所を置く法人を対象に、法人の設立認証、定款変更等の認証、各種届出及び事業報告書等の受理などを行います。

(6) 市民活動支援事業

26,388千円

(前年度30,873千円)

市民活動団体における資金面や運営面での諸課題解決に向けた支援を行います。

ア 市民活動推進ファンド

市民や企業等から寄附を募り、市民活動推進基金に積み立て、あらかじめ登録したNPO法人に助成するなどの支援を行います。

イ 市民活動運営支援講座・相談会【新】

市民活動団体への運営支援として税務・労務にかかわる講座や相談会を実施します。

(7) 市民活動総合支援拠点事業

156,934千円

(前年度92,673千円)

横浜市市民活動支援センターにおいて、市域の拠点として、市民の創意工夫・活力を活かして総合的に市民活動を支援します。さらに、区域の支援拠点である各区の市民活動支援センターの運営支援等、広域的・専門的な視点からのサービスを提供します。

ア 横浜市市民活動支援センター事業

市民活動に関する相談、情報発信、活動場所の提供などを行う運営事業と、市民活動に関する人材育成やネットワーク化などを行う自主事業を実施します。

イ 瀬谷区民活動センター移転整備

せやまる・ふれあい館（横浜市アレルギーセンター跡施設）への移転に向けた整備工事を実施します。

(8) 市民力発揮推進事業

10,025千円

(前年度19,725千円)

多様な世代の市民力が発揮されるよう、担い手の発掘・人材育成への取組や、市民活動への参加のきっかけづくりとなるイベントの開催などを行います。

ア 地域デビュー応援フェア【新】

多様な世代の市民を対象に、市民活動・地域活動に参加するきっかけとなるイベントを、市民活動団体・企業・大学・行政が連携して実施します。

イ 新たな人材発掘・育成事業【拡】

新たな担い手の発掘や、活動への参加促進のための事業を、市民活動団体等と連携して実施します。

(9) 協働推進事業

2,875千円

(前年度5,540千円)

協働の考え方について市民・職員の理解を促進し、協働の取組を広げていきます。また、協働に関する課題についての議論を深め、協働の推進に役立てます。

ア 研修事業

協働に携わる市民、職員などを対象に、協働に関する研修を実施します。

イ 情報提供事業

協働に関する情報を市民、職員双方に発信し、幅広い協働の実践につなげていきます。

ウ 市民活動推進委員会の運営

市民活動の推進に関し必要な事項を調査審議します。

5	(3款1項5目) 文化振興費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
		4,099,558	5,957,142	△1,857,584	0	1,450,000	44,443	2,605,115

若手音楽家の発掘・育成を目的とした音楽祭の開催、身近な地域でのアート活動の推進、次代を担う子どもたちの創造性を育む事業の推進、文化施設の運営・整備など、市域全体で「文化芸術創造都市・横浜」を展開するための経費です。

(1) クラシック・ヨコハマ推進事業 **11,000千円** (前年度15,000千円)

ア クラシック・ヨコハマ

国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、地域でのサロンコンサート等による音楽祭を開催します。

イ 国際音楽セミナー

世界的演奏家による国際音楽セミナーを開催し、若手演奏家を発掘、育成するための環境整備を行います。

(2) 文化芸術による地域づくり事業 **6,000千円** (前年度23,500千円)

「文化芸術の創造性を活かした地域づくり事業」と「横浜アートサイト連携事業」を統合し、市民・NPOが主体となり、地域コミュニティの活性化を目指して行う文化芸術活動を支援します。

(3) 芸術文化教育プログラム推進事業 **17,500千円** (前年度22,935千円)

次世代を担う子どもたちの市民力、創造力を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化を体験できる教育プログラムを、NPO、企業等とのネットワークにより実施します。

(4) 芸術文化支援事業 **40,150千円** (前年度43,300千円)

美術・音楽・演劇等の芸術文化活動に対する様々な支援を行います。

(5) 芸術文化振興財団補助金 **235,288千円** (前年度264,916千円)

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団の運営及び事業への補助を行います。

(6) 文化施設運営事業 **2,176,586千円** (前年度2,101,614千円)

横浜美術館、横浜みなとみらいホール等の文化施設の運営等を行います。

ア	横浜美術館運営費	536,250千円
イ	横浜みなとみらいホール運営費	444,661千円
ウ	横浜能楽堂運営費	170,177千円
エ	横浜にぎわい座運営費	180,900千円
オ	関内ホール等文化施設運営費(11施設)	727,966千円
カ	市民利用施設予約システム運営費等	116,632千円

(7) 文化施設整備事業 **1,481,591千円** (前年度3,229,123千円)

市民の主体的、創造的な文化活動の身近な拠点となる文化施設を各区の文化特性等に応じて整備します。

ア	鶴見区 区民文化センター(整備推進)	1,480,491千円
イ	緑区 区民文化センター(調整費)	100千円
ウ	文化施設機能等調査費	1,000千円

(8) その他の文化振興事業 **131,443千円** (前年度256,754千円)

横浜文化賞の贈呈、美術資料収集、文化施設の長期維持管理、次期指定管理者の選定等を行います。

6	(3款1項6目) スポーツ振興費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
		1,309,754	1,623,104	△313,350	0	0	58,578	1,251,176

市民一人ひとりがスポーツ活動を主体的・継続的に実践できるよう、関係団体や市民と連携しつつ、施設の管理運営、イベントの企画・開催、情報の収集・発信や人材の養成など各種事業を実施し、横浜市スポーツ振興基本計画「いきいきスポーツプラン2010」を推進します。

(1) スポーツ関係団体支援事業 **704,361千円** (前年度846,747千円)

関係諸団体との連携・協働の下に市民スポーツの普及・振興を図るため、地域レベルでの活動を支援するとともに、運営費の一部を補助します。

- ア 財団法人横浜市体育協会補助金 684,975千円
- イ 社団法人横浜市レクリエーション協会補助金 18,386千円
- ウ 横浜市婦人スポーツ団体連絡協議会補助金 1,000千円

(2) スポーツ施設等管理運営事業 **502,589千円** (前年度546,528千円)

横浜国際プール、横浜文化体育館、平沼記念体育館等の管理運営及び市民利用施設予約システムの運営を行うとともに、次期指定管理者の選定を実施します。

- ア 横浜国際プール管理運営費 281,277千円
- イ 横浜文化体育館管理運営費 70,366千円
- ウ 平沼記念体育館管理運営費 22,417千円
- エ 次期指定管理者選定事業費 6,800千円
- オ 施設・設備維持修繕費等 72,529千円
- カ 大規模スポーツ施設調査費 2,000千円
- キ 市民利用施設予約システム運営費 47,200千円

(3) スポーツイベント等開催事業 **49,408千円** (前年度64,931千円)

国際都市・横浜にふさわしい質の高いスポーツイベントの開催やスポーツに参加する機会の提供を通じて、市民のスポーツに対する理解と関心の向上を図るとともに、市民の一体感の醸成やシティ・セールスの推進を図ります。

- ア 横浜マラソン大会開催費 15,000千円
- イ 市民参加スポーツイベント等開催費 22,908千円
 - (ア) 横浜元気!! スポーツ・レクリエーションフェスティバル 5,000千円
 - (イ) 横浜シーサイドトライアスロン大会 3,000千円
 - (ウ) YOKOHAMAビーチフェスタ 3,000千円
 - (エ) こどもマリンスクール 2,900千円
 - (オ) 市民体育大会等 9,008千円
- ウ 横浜熱闘倶楽部事業費 4,500千円
- エ 観戦型スポーツイベント等開催費 7,000千円
 - (ア) 全日本少年軟式野球大会 5,200千円
 - (イ) 全日本ジュニア体操競技選手権大会 1,000千円
 - (ウ) 連絡調整費等 800千円

(4) 市民スポーツ振興事業

53,396千円

(前年度55,848千円)

市民が身近な場所でスポーツに親しむことのできる環境づくりを通じて生涯スポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの設立・運営に対する支援やヨコハマさわやかスポーツの普及・振興を進めるとともに、その担い手となるスポーツ指導者の養成や体育指導委員に対する支援に取り組みます。

また、一貫したシステムによるジュニア選手の発掘・育成・強化を図るほか、スポーツを通じた各国市民との交流・親善を深めます。

このほか、JOC（日本オリンピック委員会）とのパートナー都市協定に基づき、オリンピック選手を招いての各種行事を開催します。

ア 地域スポーツ支援事業費	21,703千円
(ア) 総合型地域スポーツクラブ支援費	7,710千円
(イ) ヨコハマさわやかスポーツ	7,710千円
(ウ) 人材養成講座	5,000千円
(エ) 連絡調整費等	1,283千円
イ 体育指導委員支援費	10,481千円
ウ スポーツ振興審議会費	1,360千円
エ ジュニア競技力向上事業費	13,952千円
オ スポーツ国際交流事業費	5,000千円
カ JOCパートナー都市協定事業費	900千円

7	(3款2項1目) 個性ある 区づくり推進費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
					国・県	市債	その他	一般財源
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		14,696,277	15,183,065	△486,788	74,335	0	564,103	14,057,839

身近な市民サービスの拠点である区役所が、地域の特性やニーズに応じて個性ある区づくりを推進するための経費です。

平成22年度予算編成においては、事業内容の見直しや経費の縮減にも取り組みながら、現場目線でぬくもりのある行政サービスの向上を目指し、様々な事業を実施します。

また、個性ある区づくり推進費の一部を活用し局の協力を得ながら行う「区局連携事業」を実施します。

- (1) 自主企画事業費 (旧一般事業費含む) **2,516,183千円** (前年度2,969,671千円)
地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費

〔区局連携事業 (事業所管局計上分) (16事業・82,715千円) (前年度123,500千円)〕
個性ある区づくり推進費の一部を活用し、局が予算を編成・執行する区局連携事業は、事業所管局へ計上しています。

- (2) 区庁舎・区民利用施設管理費 **9,784,854千円** (前年度9,897,910千円)
区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費

(単位：千円)

施設の種別等	予算額	備考
区庁舎等	1,999,843	総合庁舎(18)行政サービスコーナー(13)
区版市民活動支援センター	137,144	18か所
土木事務所	130,350	18か所
公会堂	442,825	18か所 (5館指定管理者導入)
地区センター等	3,107,228	地区センター(80)集会所(6)スポーツ会館(11)
コミュニティハウス	1,130,667	113か所
老人福祉センター等	881,368	老人福祉センター(18)老人憩いの家(4)
区スポーツセンター	815,518	18か所
区民文化センター	732,295	7か所
こどもログハウス	132,323	18か所
区庁舎・区民利用施設修繕費	149,605	
その他(広場・遊び場等)	125,688	
合計	9,784,854	

- (3) ぬくもりある区民サービス向上支援事業【新】 **100,000千円**
区民が変化を実感できる区民サービスの向上に向けた、各区の取組を支援します。

- (4) 区役所嘱託員経費等 **2,224,044千円** (前年度2,296,007千円)
区役所の嘱託員経費、産休・育休等アルバイト経費等

- (5) 緊急雇用創出事業 **71,196千円** (前年度19,477千円)
緊急雇用創出事業を各区において実施します。そのうち、区庁舎管理等に関する緊急雇用創出事業を個性ある区づくり推進費に計上しています。(15区17事業)

〔各区が実施する緊急雇用創出事業については、事業内容に応じて事業所管局へ予算計上しています。個性ある区づくり推進費計上分を含め、18区48事業 (348,240千円)〕

8	(3款2項2目) 戸籍住民登録費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
		985,869	967,207	18,662	176,830	0	1,397,136	△588,097

戸籍住民登録事務、行政サービスコーナーの運営、戸籍システムの運用、住居表示の整備等の事業を円滑に実施していくとともに、魅力ある窓口づくり推進事業に取り組み、より一層の窓口サービスの向上と効率化を図ります。

(1) 戸籍住民登録事務費等 **453,152千円** (前年度451,077千円)

戸籍住民登録事務、印鑑証明事務、外国人登録事務などのほか、証明発行窓口の運営も含めた戸籍課の業務を円滑に実施します。

(2) 行政サービスコーナー運営事業 **23,091千円** (前年度25,095千円)

市内13か所の行政サービスコーナーを運営します。

(3) 戸籍システム運用事業 **158,616千円** (前年度171,574千円)

平成20年度に稼働した戸籍システムについて、稼働状況監視や障害対応等の運用支援作業、また機器やソフトウェアの保守作業を引き続き民間事業者へ委託し、安定運用を図ります。

(4) 戸籍システム関連業務支援拠点運営事業 **224,152千円** (前年度227,433千円)

区で受け付けた届出書の内容について戸籍システムへの入力作業等を行う、戸籍システム関連業務支援拠点の運営を、引き続き民間事業者へ委託します。

(5) 住居表示整備等事業 **19,413千円** (前年度21,209千円)

住所を分かりやすく表示するため、町の区域を整理し、住所の表示を改めます。保土ヶ谷区仏向町の西部地区について住居表示を実施します。

(6) 魅力ある窓口づくり推進事業 **10,249千円** (前年度38,590千円)

親切・丁寧・迅速な窓口対応、市民に分かりやすい説明など、区役所の窓口サービスの一層の向上に向けて、区と連携した職員研修、窓口サービス満足度調査、外部評価等を実施します。

(7) 住基法・入管法改正対応事業【新】 **79,645千円**

平成24年度の施行が予定されている、「住民基本台帳法」及び「出入国管理及び難民認定法」の改正への対応を行います。

平成22年度は、住民記録システムについて、法改正に対応するための改修範囲の影響調査を行うとともに、平成23年度以降に本格化するシステム改修に先がけて、設計作業に着手します。

〔なお上記とは別に、総務局情報システム課で機器増設・SE作業工数等の予算として40,608千円を計上しています。〕

(8) 証明発行サービス将来構想調査事業【新】 **4,832千円**

高齢化やIT化の進展に伴い多様化するニーズに対応し、利便性の高い証明発行サービスを効率的に提供していくための調査・検討を行います。

(9) 緊急雇用創出事業 **12,719千円** (前年度32,229千円)

青葉区独自の取組において、転入時の手続を円滑に行ってもらうことを目的として、住民異動手続案内事業を実施します。また、行政サービスコーナーの利用者の状況や満足度、ニーズ等を調査し、今後の窓口サービスの向上に役立てます。

9	(3款2項3目) 地域施設費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
		1,744,103	2,947,821	△1,203,718	94,249	309,000	8,797	1,332,057

区庁舎等の庁舎施設及び地区センター等の市民利用施設の整備・改修に要する経費です。

(1) 区庁舎整備事業 1,149,060千円 (前年度68,420千円)

耐震補強が必要とされ、補強工事の実施が困難な区庁舎について、移転整備を行います。

- ア 瀬谷区総合庁舎 123,190千円
公会堂部分が平成22年10月にしゅん工し、整備費用と維持管理・運営費用を、平成37年度までの分割払いで支払います。また、設計・建設モニタリングを行います。
- イ 戸塚区総合庁舎 1,014,450千円
再開発事業の公益施設への移転整備に向け、PFI事業者と事業契約を締結します。また、設計モニタリングを行い、区庁舎部分の保留床土地費を先行して支払います。
- ウ 港南区総合庁舎 5,000千円
行政機能用地を活用した移転建替えに向け、調査・検討を行います。
- エ 南区総合庁舎 6,000千円
整備計画を進めるための調査・検討を行います。
- オ 中区庁舎(分庁舎) 420千円
旧労働基準局を活用した整備に向け、建物の維持管理を行います。

(2) 区庁舎等耐震性強化事業 48,475千円 (前年度603,295千円)

耐震診断の結果、補強が必要とされた区庁舎、公会堂及び土木事務所の耐震補強を行います。

- ア 西区総合庁舎 24,000千円
耐震補強工事のための実施設計を行います。
- イ 金沢区総合庁舎 5,000千円
整備計画を進めるための調査・検討を行います。
- ウ 緑区総合庁舎 5,000千円
整備計画を進めるための調査・検討を行います。
- エ 中土木事務所 14,000千円
耐震補強工事のための実施設計を行います。
- オ その他(事務費) 475千円

(3) 区庁舎設備等改修事業・敷地買替・床取得 46,068千円 (前年度187,104千円)

区庁舎、公会堂、土木事務所の利便性の向上、環境整備のため、機能向上等を行います。

- ア 区庁舎駐車場施設改修 9,168千円
区庁舎駐車場の指定管理者導入に伴い、駐車場の施設改修等を行います。
- イ 電波障害対策 3,500千円
区庁舎等により発生する電波障害対策について、地上デジタル対応を行います。
- ウ 都筑土木事務所仮設作業所 4,000千円
平成19年度の総合庁舎内への移転後、作業所が未整備であり、仮設建物を賃借します。
- エ 保土ヶ谷土木事務所資材置場【区】 22,400千円
資材置場の移転が必要になったため、新たに確保した資材置場の整備工事を行います。
- オ 区庁舎等敷地買替事業 1,000千円
基金で保有する区庁舎等の敷地のうち、緑土木事務所敷地の買替を行います。
- カ 旧鶴見県税事務所床取得調整事業 6,000千円
平成22年度は賃借とし、床取得に向けて調整を行います。

(4) 緊急雇用創出事業

21,949千円

緊急雇用創出事業のうち区庁舎駐車場管理に関する緊急雇用創出事業（3区で実施）を区庁舎の整備・改修に要する経費として、市民局に予算計上しています。

(5) 地域施設整備等事業

345,835千円（前年度1,004,255千円）

市民の様々な地域活動や交流の拠点となる施設として、コミュニティハウスの整備等を行います。

- | | | | |
|---|-----------------------------------|-------|-----------|
| ア | 鶴見中央コミュニティハウス | 〈鶴見区〉 | 82,855千円 |
| | 前年度から引き続き工事を行います。《鶴見駅東口再開発ビル内に整備》 | | |
| イ | 日野南コミュニティハウス | 〈港南区〉 | 118,822千円 |
| | 前年度から引き続き工事を行います。《寄付用地を活用して整備》 | | |
| ウ | 浅間コミュニティハウス | 〈西区〉 | 138,145千円 |
| | 実施設計、移転再整備工事を行います。 | | |
| エ | 別所コミュニティハウス（仮称） | 〈南区〉 | 2,030千円 |
| | 実施設計を行います。《南が丘中学校敷地の一部を活用》 | | |
| オ | 桂台コミュニティハウス（仮称） | 〈栄区〉 | 3,183千円 |
| | 基本設計を行います。 | | |
| カ | 本郷地区センター | 〈栄区〉 | 500千円 |
| | 再整備について検討・調査を行います。 | | |
| キ | 都田地区センター（仮称） | 〈都筑区〉 | 300千円 |
| | 都筑区都田方面への新設整備について、検討を行います。 | | |

(6) 上郷・森の家運営事業

122,700千円（前年度125,200千円）

市民の宿泊や小学生の体験学習等に活用している栄区の「上郷・森の家」の運営を行います。

(7) 地区センター・公会堂等指定管理者選定事業

5,016千円（前年度1,360千円）

指定管理者の選定作業を行います。

(8) 子どもの遊び場遊具等予防保全事業

5,000千円（前年度5,000千円）

遊具等の予防保全を行います。

IV 参考資料

平成22年度 区編成予算(自主企画事業) 区別状況一覧

区名	自主企画事業費			区局連携事業			頁
	予算額 (千円)	事業数	主な事業名	予算額 (千円)	事業数	主な事業名 (局・事業本部名)	
鶴見	143,323 (11,257)	52 (4)	みんなでグリーンアップつるみ				26
神奈川	143,555 (36,735)	46 (3)	子どもが健やかに育つまち	3,000 (3,000)	1 (1)	大口駅・子安駅周辺地区バリアフリー基本構想策定 (道路局)	27
西	125,800 (16,693)	45 (3)	西区緑づくり事業	8,600 (8,600)	2 (2)	ノー「スモーキング&パーキング」プロジェクト (資源循環局、道路局)	28
中	148,575 (9,465)	48 (3)	初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業	10,300 (10,300)	3 (3)	繁華街対策事業 (消防局)	29
南	138,702 (10,150)	51 (4)	木造建物簡易耐震改修促進事業				30
港南	143,969 (18,555)	38 (4)	地域福祉保健活動推進事業				31
保土ヶ谷	144,426 (4,590)	46 (3)	“輝け、地域力！”事業	22,400 (22,400)	1 (1)	保土ヶ谷区資材置場整備 (市民局)	32
旭	143,738 (5,278)	57 (3)	旭いきいき元気応援事業	3,000 (3,000)	1 (1)	二俣川駅周辺地区のバリアフリー推進 (道路局)	33
磯子	133,433 (14,140)	51 (3)	子育て応援推進事業	2,000 (2,000)	1 (1)	地域運営力アップ事業 (市民局)	34
金沢	136,702 (4,930)	55 (3)	Campus Town Kanazawa 推進事業 (大学の活力を生かしたまちづくり)	2,000 (2,000)	1 (1)	旧富岡倉庫地区の跡地利用計画策定事業 (都市経営局)	35
港北	147,752 (6,797)	57 (3)	わくわく子育て保育所事業				36
緑	131,473 (9,725)	42 (3)	災害に強いまちづくり事業	3,400 (3,400)	1 (1)	防災行政用無線システム運用事業 (消防局)	37
青葉	147,284 (10,140)	47 (3)	子育て支援ネットワーク事業	6,015 (4,000)	2 (1)	田園都市線駅周辺のまちづくり計画策定事業(その2) (都市整備局)	38
都筑	133,591 (7,847)	23 (4)	こども・青少年健全育成推進事業	5,000 (5,000)	1 (1)	水位計、ライブカメラの設置及び水防災システム改修 (道路局)	39
戸塚	149,366 (8,163)	52 (3)	区民力発揮促進事業				40
栄	138,887 (22,250)	36 (3)	セーフコミュニティ事業	12,000 (12,000)	1 (1)	さかえ次世代交流ステーション(仮称)開設事業 (こども青少年局)	41
泉	138,183 (17,230)	41 (3)	「地域主体の地域運営」推進事業	5,000 (5,000)	1 (1)	せせらぎ緑道再整備事業 (道路局)	42
瀬谷	127,424 (12,564)	27 (3)	支えあい家族支援事業				43
計	2,516,183 (226,509)	814 (58)	市民局 個性ある区づくり推進費 として計上	82,715 (80,700)	16 (15)		

- ・自主企画事業費の()は内数で、市の重点政策課題に対応する事業として、区が実施する事業費。
具体的な事業名は、26ページ～43ページ中(重)と記載してあるもの。
- ・「区局連携事業」は、地域課題解決のため区の財源を活用し、局が予算を編成・執行する事業。
- ・区局連携事業の()は内数で、区からの提案に基づき、計上された事業費。

予算編成の考え方

～区民満足度のさらなる向上を目指して～

鶴見区では、区政運営方針を踏まえ、具体的な5つの重点政策分野を設定し予算編成を行いました。非常に厳しい予算状況ですが区民ニーズを的確に把握し、区民の生活向上につなげるという視点で、全事業について見直しを行い、経費節減と財源確保に取り組みながら、「親切」「正確」「迅速」な区民サービスの提供に努め、区民満足度の向上を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 合計：143,323千円

1 まちの安全・安心 21,746千円

風水害、地震などの災害時に備え、地域が主体的に行う防災啓発活動を支援し、地域防災力向上に向けた取組を推進するとともに、新型インフルエンザ等の感染症対策の啓発活動等を行います。

《主な事業》 つるみっこ防災塾、災害時要援護者救援システムづくり事業（重）、感染症対策事業

2 鶴見・あいねっと 38,608千円

「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」に基づき、支えあいの福祉保健活動を推進します。

《主な事業》 高齢者いきいきクオリティアップ事業(重)、鶴見・あいねっと いきいき子育て推進事業

3 多文化共生 7,584千円

鶴見区は市内で2番目に外国人が多く居住している区です。「鶴見区多文化共生アクションプラン」に基づき、多文化共生を推進します。

《主な事業》 多文化のまち・つるみ推進事業

4 環境への取組 8,532千円

区民や事業者と協働して、日常生活の中で気軽に地球温暖化対策や緑化に取り組める機会を増やします。

《主な事業》 つるみ温暖化スタートダッシュ事業（重）、みんなでグリーンアップつるみ（重）

5 地域の魅力アップ 66,853千円

区民、地域、事業者と協働して、鶴見区の魅力を高める取組を推進するとともに、より一層窓口サービスの向上の取組を進めます。

《主な事業》 区民活動等推進事業、つるみ・元気アップ事業、「やる気を活かそー！プロジェクト」推進費

予算編成の考え方

「地域力の更なる向上」に努め、「新たな地域力を育てる」ための支援を展開する

神奈川県では、地域の特性や課題に対応するため、「①子どもが健やかに育つまち」、「②エコ&クリーンなまち」、「③災害時に助け合えるまち」を重点的取組とした上で、全体を以下の「予算の体系」に示す5つの柱に整理し、区民と共に考え、取組を進めていきます。

◆ 神奈川区の特性・課題 ◆

- ① 若い世代の人口増・流動が続いているため、子育て世代の生活支援要望が多い。
- ② 区民意識調査において、地域の課題や地域の魅力づくりに関する質問で「町の安心安全」や「町の美化」の項目が、常に上位となっており、区民の関心の高さがうかがえる。
- ③ 高齢化率が30%を超える町が出現し、20%~25%の町が連続する地区も見られ、地区での支え合いが困難となることが懸念される。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：143,555千円

1	子育て・健康・市民活動	33,840千円
	区民のだれもが心身共に豊かな暮らしができるよう支援します。 《主な事業》子どもが健やかに育つまち(重)、かながわ区民力発揮プロジェクト	
2	環境行動・まちの美化	20,092千円
	G30から広げる地球温暖化対策を推進します。 《主な事業》エコ&クリーンなまち(重)	
3	まちづくり・魅力アップ	3,380千円
	快適で利便性の高いまちを目指します。 《主な事業》神奈川県資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業	
4	安全・安心・セーフティネット	22,259千円
	暮らしを守る備えとしくみづくりを行います。 《主な事業》災害時に助け合えるまち(重)、障害者社会参加促進プロジェクト	
5	区民サービス・区役所運営	63,984千円
	正確で迅速な業務遂行と、ぬくもりのあるサービスを提供します。 《主な事業》区民サービス向上事業、かながわ情報発信事業	

※参考【区局連携事業】

合計：3,000千円

- ・大口駅・子安駅周辺地区バリアフリー基本構想策定(3,000千円、道路局)

予算編成の考え方

～つながりを大切に ともに支えあうまち 西区へ～

平成22年度は、開港150周年を終え、平成26年の区制70周年に向けての新たなスタートの年です。

これまで培った「区民・地域のつながり」や「西区の魅力」を活かし、区民や事業者とともに、近年大幅に増加している子どもを地域で育てる環境づくり、ひとり暮らし高齢者を見守る仕組みづくり、緑化をはじめとした脱温暖化対策や災害対策などに取り組み、区民が地域の支えあいの中でつながりを感じながら安心して暮らしていくことができるよう、施策を展開していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：125,800千円

1 地域全体で子育てができる環境づくり

11,743千円

就学前児童数が大幅に増加している中、身近な地域で共に子育てができる環境づくりを進めるとともに、学童期の児童を家庭・学校・地域のつながりの中で育てる活動を支援します。

《主な事業》地域の資源を活用した西区子育てサロン事業(重)、こどもの学舎運営支援事業

2 みんなでともに支える地域づくり

19,902千円

地域でひとり暮らし高齢者を支える仕組みづくり、災害時の対応など、地域が主体となった課題解決を支援し、市民力が発揮できる環境づくりを行います。

《主な事業》地域で見守りあんしん事業、西区地域福祉保健計画の推進、地域課題解決サポート事業

3 環境に配慮した潤いのあるまちづくり

21,842千円

区民・事業者等との協働により、脱温暖化行動、都心部ならではの緑づくり、横浜駅周辺の屋外喫煙・放置自転車対策等の一体的・重点的な取組を推進し、暮らしやすく潤いのあるまちをつくります。

《主な事業》西区「温暖化ストップしようエコしよう」区民運動推進事業、西区緑づくり事業(重)

ノー「スモーキング&パーキング」プロジェクト(重)

4 安全に暮らせるまちづくり

8,678千円

新型インフルエンザ、ゲリラ豪雨、震災の対応など、「安全」に対するニーズは高まっています。横浜駅をはじめとする繁華街、河川流域、住宅密集地等、地域の特性に応じた危機管理施策を展開します。

《主な事業》地域防災活動推進事業、自治会・町内会館耐震診断支援事業、安心して暮らせるまちづくり推進事業

5 区民の健康づくりの支援

7,748千円

区民が健康に暮らすことができるよう「ウォーキング」「食育」をはじめとした健康づくり施策を進めます。

《主な事業》西区ハマのウォーキングフェスティバル、つなげよう食育の「わ」事業、ここから元気事業

6 区民とともに歩む、親しみのある区役所づくり

55,887千円

広報広聴、窓口の環境改善等を通じ、区民とともに歩む、親しみのある区役所づくりを進めます。

《主な事業》サービス改善推進事業、広報充実事業

※参考【区局連携事業】

合計：8,600千円

・国際都市における新興感染症対策(4,500千円、健康福祉局)

・ノー「スモーキング&パーキング」プロジェクト(4,100千円、資源循環局・道路局)

予算編成の考え方

「安全なまち、安心な暮らし、元気な中区」を目指します！

中区におきましては、非常事態ともいえる厳しい財政状況のなか「市政運営の基本的な考え方」、「予算編成・執行体制づくりの基本方針」の理念を踏まえながら、職員ひとり一人が知恵を絞って予算編成を行いました。

平成22年度は、特に区役所が現場での第一線という立場から「区民の望んでいるサービスとは何か」を常に模索し、真に必要な事業を積極的に展開していくこととしました。こうした中、さまざまな課題に対して、「正確」、「迅速」、「誠実」に取り組み、区政運営方針の基本目標である「住みやすく居心地の良いまちづくり」の実現に向け、「安全なまち、安心な暮らし、元気な中区」を目指して、職員一丸となって予算を編成しました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】**合計：148,575千円**

- | | |
|---|-----------------|
| 1 地域の知恵と力を活かした防犯力・防災力の向上 | 8,495千円 |
| 地域との協働を進め、防犯力・防災力の向上に取り組みます。 | |
| 《主な事業》初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業（重）、地域防災力向上事業 | |
| 2 こどもが健やかに育つ環境づくり | 11,640千円 |
| 地域・家庭・学校・事業者等と連携協力して、子どもたちが安心して学び、生活できる環境づくりに取り組みます。 | |
| 《主な事業》ひろがれ中ヨシ！子育ての輪（重）〔子育て・親育ち応援事業、すくすくモバイル事業、保育園で子育て応援事業〕 | |
| 3 地域資源と民の力の活用による地域の活性化 | 17,600千円 |
| 区民・団体・事業者など地域が主体となったまちづくりに取り組み、元気ある中区づくりを進めます。 | |
| 《主な事業》中区身近な地域・元気づくりモデル事業、なか国際交流ラウンジ運営事業 | |
| 4 行政・区民の連携によるまちの美化・環境対策の推進 | 13,641千円 |
| 区民・学校・事業者・行政が一丸となって脱温暖化の行動を推進するとともに、G30行動を推進し不法投棄されにくい環境づくりに取り組みます。 | |
| 《主な事業》花いっぱい明るいまち事業、地球温暖化対策推進事業 | |
| 5 高齢者・障害者などの要援護者サービスの充実 | 49,457千円 |
| 高齢者をはじめ、障害者などの要援護者サービスの充実を図り、誰もが地域の支えあい助けあいにより安心して、暮らしていけるよう取り組みます。 | |
| 《主な事業》中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業（重）、～いつまでも住み慣れた地域で健康にいきいきと～生き生きシルバーエイジ事業 | |
| 6 親しまれ、信頼される区役所づくり | 47,742千円 |
| 市民にとって最も身近な行政機関として、お客様に満足して頂き信頼される区役所づくりを目指します。 | |
| 《主な事業》多言語広報事業、窓口サービス品質向上事業、新型インフルエンザ啓発事業 | |

※参考【区局連携事業】**合計：10,300千円**

- ・ 繁華街対策事業（5,400千円、消防局）
- ・ APEC横浜開催記念応援事業（2,400千円、APEC・創造都市事業本部）ほか

平成 22 年度 南区編成予算(自主企画事業)
事業概要

南区

予算編成の考え方

危機的な財政状況を乗り越えて、ぬくもりのある区政を実現し、

「あったかい」まちをつくります。

ぬくもりのある区政と、南区の特色である下町の「あったかい」人間関係を活かし、暮らしやすく「あったかい」と感じることできる南区を目指します。厳しい財政見通しの中ですが、区民との協働で、区の課題を解決するためチャレンジします。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：138,702千円

1 安全で安心して暮らせるまちづくり

16,030千円

犯罪や災害に強く、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》木造建物簡易耐震改修促進事業(重)、災害時要援護者支援事業(重)、街の安全・私の安全支援事業

2 誰もがいきいき暮らせるまちづくり

55,110千円

高齢者や障害者を始め、様々な立場の住民がいきいき暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》自殺対策事業(重)、みなみ国際交流ラウンジ(仮称)運営費(重)、健康づくり推進事業、子育て支援事業

3 快適で環境にやさしいまちづくり

8,882千円

地域で快適に暮らすことができる環境づくりを進めるとともに、地球にやさしいまちづくりを進めます。

《主な事業》地球にやさしい緑の南区推進事業、みなみ・みんなでG30、保育園等緑化事業、LED蛍光灯導入モデル事業

4 魅力あふれるまちづくり

19,680千円

区内の各地域が持つ魅力を活かしながら、地域住民が主体となって進めるまちづくりを支援します。

《主な事業》地域力推進支援事業、みなみ商店街いきいき事業、区の花「さくら」保全事業

5 信頼される利用しやすい区役所づくり

39,000千円

信頼される利用しやすい区役所づくりを進め、お客様満足度の向上を目指します。

《主な事業》改革推進事業、広聴広報相談事業

予算編成の考え方

地域目線で区民と一体となったまちづくり

平成22年度「市政運営の基本的な考え方」において市民生活に直結した分野として重視することとされている「市民の暮らしの充実」「現場目線でぬくもりのある行政サービス」を推進するため、「現場主義」「地域理解」「地域目線」をキーワードに予算を編成しました。

地域と区役所が一体となって港南区地域福祉保健計画を進める中で、地域の立場から人と人との「つながり」を重視した支援を進め、地域の元気UPを図ります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：143,969千円

1 急速な高齢化への対応 15,767千円

地域が主体的に高齢者等を支える取組を支援します。

《主な事業》災害時要援護者対策等防災事業(重)、高齢者元気応援事業

2 安全安心なまちづくり 18,485千円

区民が自主的に行う防犯活動等の支援や、通学路や生活道路の安全確保を進めます。

《主な事業》安全安心まちづくり推進事業、カラー舗装化による通学路等の安全確保事業

3 子育て支援の充実 17,973千円

より身近な場所でのネットワークづくりやDV等の専門相談など、総合的に子育てを支援します。

《主な事業》未来へつなごう！地域で子育て応援事業(重)、保育園魅力アップ事業

4 区役所の総合的な地域支援 27,722千円

自治会・町内会活動をはじめとする地域の様々な活動や人のつながりづくりを総合的に支援します。

《主な事業》地域福祉保健活動推進事業(重)、元気なまちの土台づくり支援モデル事業(重)、

地域カステップアップ事業、こうなん元気いきいきネットワーク事業

5 よりよい環境づくり 13,121千円

地域と関係機関が一体となって、脱温暖化やゴミの削減など、よりよい環境づくりに取り組みます。

《主な事業》港南区における省エネ・脱温暖化事業、G30推進事業

6 区民満足度の向上 38,289千円

区民ニーズを的確に把握して区政に反映します。

《主な事業》こうなん区政推進事業、わかりやすい情報提供事業

7 来庁者の快適度の向上 12,612千円

来庁者サービス向上のための事業を行います。

《主な事業》総合案内充実事業、快適区役所推進事業

予算編成の考え方

いつまでも住み続けたいまち 保土ヶ谷 の実現をめざして

「東海道の宿場として歴史のあるまち」、「ふたつの川が流れ、坂の多いまち」などの地域特性と、窓口や地域で把握した区民ニーズを踏まえて、5つの重点項目を設定し、予算編成を行いました。

平成22年度は、地域活動の担い手となる新たな人材の育成やこどもの虐待防止等を重点として取り組むなど、「いつまでも住み続けたいまち保土ヶ谷」の実現を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：144,426千円

1 防犯・防災をはじめとした安全・快適なまちづくり

27,741千円

地域が本来もっている力を最大限に活かし、地域の防犯力・防災力を高め、安全で快適に暮らせる街づくりを進めます。

《主な事業》災害対策推進事業、保土ヶ谷区地域防犯力向上事業

2 支えあいの実践から始まる安心なまちづくり

15,311千円

地域での支えあいの仕組みづくりに取り組み、世帯人員の減少や少子高齢化に対応した、誰もが安心して暮らせる街づくりを進めます。

《主な事業》保土ヶ谷区内歩行者空間バリアフリー検討(重)、こどもを守ろう!虐待防止ネットワーク事業(重)

3 脱温暖化に向けた環境行動の実践

11,283千円

G30の成果に加え、脱温暖化に向けた省資源・省エネルギーと、水や緑などの地域資源の活用など、環境行動が、さらに地域に根付くよう取り組みます。

《主な事業》ほ도가やCO-DO30推進事業、横浜G30プラン推進事業

4 魅力と活気にあふれるまちづくり

35,889千円

「文化」「歴史」「ひと」などの貴重な地域資源を活かし、保土ヶ谷への愛着と誇りにあふれるまちづくりを進めます。

《主な事業》“輝け、地域力!”事業(重)、アワーズ(地域デビュー支援センター)地域協働発信事業

5 地域を支援し、信頼され、親しまれる身近な区役所づくり

54,202千円

区民へのタイムリーな情報提供と「行政のプロ」職員の育成により、信頼され親しまれる区役所づくりを進め、区民の満足度向上に努めます。

《主な事業》「利用しやすい区役所」推進事業、職員が誇れる区役所づくり強化事業

※参考【区局連携事業】

合計：22,400千円

・保土ヶ谷区資材置場整備(22,400千円、市民局)

予算編成の考え方

旭区誕生40周年の経験を活かして考える旭区の予算

平成22年度の予算原案は、「旭区誕生40周年」の取組で培った地域や関係機関との連携、アイデア等を活かしつつ、既存事業を見直し、区の特長・地域ニーズを踏まえ将来を見据えた予算とすることを基本的な考え方としています。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：143,738千円

1 区民一人ひとりの健康づくり

11,607千円

子どもから高齢者まで、このまちで健やかに暮らし続けていただくよう、区民のライフステージに応じた健康づくりを支援します。

《主な事業》旭いきいき元気応援事業(重)、食育推進事業

2 地域の多世代が支える福祉づくり

33,125千円

高齢者や子どもたちを見守る環境づくりなど、地域の多世代による人と人とのふれあい豊かな地域福祉を推進します。

《主な事業》すくすく子育て・親育ち応援事業、地域福祉保健計画事業

3 安全・安心な生活空間づくり

27,760千円

水と緑に恵まれた旭区の居住環境を、次世代に引き継いでいくため、緑化活動をはじめ脱地球温暖化に向けた取組を進めるとともに、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》保育園応援隊と世代間交流事業(重)、災害時地域支えあい支援事業(重)

4 区の魅力づくり

71,246千円

旭区誕生40周年、横浜開港150周年を契機に、区民の皆さんが「わがまち・ふるさと」を体感できるよう、旭区の魅力づくりに向けた取組を進めます。

《主な事業》旭区市民活動支援センター「みなくる」活動事業、文化芸術による心の豊かさ推進事業

※参考【区局連携事業】

合計：3,000千円

・二俣川駅周辺地区のバリアフリー推進(3,000千円、道路局)

予算編成の考え方

誰もが暮らしの中で「幸せ」を実感できるように

磯子区では、区政運営方針の基本目標である「区民が主役の自立した豊かな地域社会」の実現に向けて、地域・区民の力の発揮によって課題解決することを基本とし予算編成を行いました。

特に、子育てや高齢者支援、地域力アップの取組に重点を置き、「区民の誰もが、暮らしの中で安全や安心、健康を実感できる」よう事業を展開します。

事業展開にあたっては、個々の事業の単独での実施ではなく、所管課の枠を越え、事業間での連携を図るとともに、地域の目線を大切に、より大きな成果に繋げていきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：133,433千円

- | | | |
|---|--|----------|
| 1 | 地域ぐるみで、健康づくり、高齢者・子育て支援の推進 | 26,715千円 |
| | 子どもから高齢者まで健やかな生活が送れるよう、地域ぐるみの運動実践や健康づくり、高齢者の見守りや子育ての支援などを進めます。 | |
| | 《主な事業》子育て応援推進事業(重)、区民の健康づくり応援事業、高齢者みんなで支える街づくり事業 | |
| 2 | 地域力・区民力発揮のための取組拡充 | 46,782千円 |
| | 「地域の課題を地域で解決」できることを目指し、地域活動団体の連携協力の推進や新たな地域活動の担い手の育成・支援などを実施します。 | |
| | 《主な事業》地域力アップ事業(重)、「スイッチON磯子」推進事業(重)、地域の支え合い活性化事業 | |
| 3 | 地域主体の脱温暖化・環境行動の実践 | 14,213千円 |
| | G30やCO-D030の目標達成に向け、区民や事業者と一体となって更なる取組を推進するとともに、地域主体でのみどりの保護・育成活動の支援などを進めます。 | |
| | 《主な事業》磯子区CO-D030推進事業、「ヨコハマはG30」クリーンいそご推進事業、グリーンサポーター事業 | |
| 4 | 区民や地域の目線で地域の課題にすばやく対応 | 45,723千円 |
| | 区民や地域の目線で一緒に考え、様々な地域課題の解決に向け、庁内横断的な視点に立って、すばやく対応します。 | |
| | 《主な事業》どこでもお出かけ区役所講座事業、広報よこはま磯子区版発行事業、
磯子区ホームページ維持管理事業 | |

※参考【区局連携事業】

合計：2,000千円

- ・地域運営力アップ事業(2,000千円、市民局)

予算編成の考え方

誰もが住んでいて良かったと実感できるまち金沢を目指して

非常に厳しい財政状況を踏まえ、事業の見直しを行うとともに、歳入の確保に努め、平成 22 年度の予算編成を行いました。

子育て支援等「市民の暮らしの充実」を図り、「現場目線でぬくもりのある行政サービス」の実現を目指すとともに、区の魅力向上に向けたまちづくりをすすめます。

具体的には、防犯・防災、環境、子育て、福祉等の各分野のほか、地域特性を含めた次の 6 つの柱を掲げ、事業を展開していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：136,702千円

1 安全・安心で環境にやさしいまちづくり 23,206千円

安心して暮らせるまちづくりをすすめるとともに、次世代によりよい環境を残すため、脱温暖化行動に取り組みます。

《主な事業》ECO行動促進事業(重)、防災関連事業

2 子どもたちが健やかにキラキラ輝くまちづくり 16,937千円

次世代を担う子どもたちが健やかに育つよう、子育てしやすい環境づくりを推進します。

《主な事業》子育て支援事業、こども体験学習・交流事業

3 みんなで支えあう福祉コミュニティづくり 13,676千円

高齢者や障害者が地域で安心して暮らせるよう、普及・啓発やボランティアの育成等を推進します。

《主な事業》金沢区地域福祉保健計画推進事業、認知症高齢者等支援事業

4 区民に信頼され親しまれる区役所づくり 48,750千円

来庁者の利便性や区民満足度の向上を図るため、ぬくもりのある区民サービスを推進します。

《主な事業》「区民サービス」推進事業、駅図書返却サービス事業

5 地域・大学との協働による活気あるまちづくり 17,043千円

地域や区内の大学と協働して、地域の様々な課題に取り組むとともに、地域住民や大学生の力が発揮されるよう支援します。

《主な事業》Campus Town Kanazawa推進事業(大学の活力を生かしたまちづくり)(重)、地域文化振興事業

6 観光資源活用による魅力あふれるまちづくり 17,090千円

区の特徴の一つである観光資源を活用し、金沢区の魅力をより一層向上させます。

《主な事業》金沢観光拠点運営事業(重)、金沢区魅力アップ事業(横浜金沢観光戦略プランの推進)

※参考【区局連携事業】

合計：2,000千円

・旧富岡倉庫地区の跡地利用計画策定事業(2,000千円、都市経営局)

予算編成の考え方

暮らしやすく活気にあふれる「ふるさと港北」を区民とともに作りします。

港北区制 70 周年・横浜開港 150 周年を契機に取り組んだ区民の方々との地域づくりをさらに活性化し、次の 10 年、そして 100 周年へ向けて新たなスタートを踏み出し、暮らしやすく活気にあふれる「ふるさと港北」づくりを進めてまいります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：147,752千円

1 地域で支えあう福祉のまちづくり

34,836千円

出生者数が毎年3,000人を超える一方、高齢者人口も多いという区の特徴を踏まえ、誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、地域で支え合う仕組みづくりを進めます。

《主な事業》わくわく子育て保育所事業(重)、地域における離乳食教室、港北にぎやか支え合い作戦

2 安心して暮らせる地域社会

24,914千円

いつ起きるともわからない災害や犯罪への対策は、区民意識が高い課題となっています。行政・地域・団体が連携し、安心して暮らせる社会の実現に向けて取り組みます。

《主な事業》災害に強いまちづくり推進事業、市立保育園の防災対策事業

3 港北エコアクションの推進

8,225千円

CO-D030の取組みを一層推進するため、行政・区民・事業者が協働して取り組む「港北エコアクション」をさらに充実させ、環境にやさしいまちづくりを推進します。

《主な事業》脱温暖化行動推進事業、地産地消推進事業

4 区民とともに進めるまちづくり

33,750千円

港北区の魅力である豊かな自然環境や都心としての機能、地域人材などの資源を存分に活かし、区民が主体となって身近な地域課題の解決や魅力向上に取り組めるよう、きめ細やかな地域支援を進めます。

《主な事業》地域力向上支援事業(重)、鶴見川を活かした魅力あるまちづくりプラン(重)

5 組織力・職員力の発揮による住民サービスの向上

46,027千円

職員の「聴く力」「考える力」「行動する力」「伝える力」の“4つの仕事力”を高め、行政のプロとして業務を担う組織力の向上を図ることにより、一層の区民満足度の向上や窓口サービスの充実を図ります。

《主な事業》福祉保健センター窓口サービス改善評価事業、人材育成のための研修事業

予算編成の考え方

～住みやすいまち・区民に親しまれる区役所を目指します！～

平成22年度は、平成21年に迎えた横浜開港150周年・緑区制40周年を通し醸成された地域力により、10年後の新たな緑区像の実現に向けて更なる発展・飛躍の機会となる大変重要な年と位置づけ、区政運営に取り組む必要があります。

そこで、平成22年度は、区民との協働の視点をしっかりと持ち、区民目線に立ったまちづくりを進めていくことを基本に、「防災・防犯」「福祉保健」など5つの分野を核として、地域課題の解決に向け取り組むとともに、地域力の強化を支援してまいります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】 合計：131,473千円

- | | | |
|----------|--|-----------------|
| 1 | 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり | 11,016千円 |
| | 防災・防犯、感染症対策等について、地域の特性に応じた区民の主体的な取組を支援し、緑区全体の危機管理能力を高めます。 | |
| | 《主な事業》災害に強いまちづくり事業(重)、子どもの安全支援事業 | |
| 2 | 誰もが住みよい支えあいのまちづくり | 21,347千円 |
| | お年寄りや体の不自由な方、子育て中の方など、誰もが安心して健康に暮らせる地域社会を目指します。 | |
| | 《主な事業》共に支えあう福祉保健の地域づくり事業(重)、ほっとホームステイ・サポート事業、あんしん子育て応援事業 | |
| 3 | 地域との連携による魅力あふれるまちづくり | 26,789千円 |
| | 地域の抱える課題が多様化・複雑化している中、市民の力の発揮によるいきいきとした地域コミュニティの形成に向けて、市民協働の推進、地域の活動支援に取り組みます。 | |
| | 《主な事業》子ども達の夢の緑区推進事業、地域課題チャレンジ提案事業 | |
| 4 | 環境にやさしいまちづくり | 11,790千円 |
| | 地球規模で進行する環境問題は、地域での取組とその積み重ねが重要です。区民一人ひとりが実践できる取組を推進します。 | |
| | 《主な事業》未来へつなぐまちの魅力アップ事業(緑区内の農の魅力、区内の魅力PRツールの作成)(重)、あつまれエコファミリー | |
| 5 | 区役所サービスと職員満足度の向上 | 17,426千円 |
| | 区民の声を区役所サービスに反映させるとともに、職員の仕事満足度の向上を目指し、その成果を区民に還元します。 | |
| | 《主な事業》区民への情報提供事業、区民の声把握事業 | |
| ・ | その他(区役所事務運営費) | 43,105千円 |

※参考【区局連携事業】 合計：3,400千円

- ・ 防災行政用無線システム運用事業(3,400千円、消防局)

予算編成の考え方

～「つながりのあるまち青葉」をめざして～

青葉区区民意識調査によれば、区民の4人に1人が近隣の人との付き合いが希薄であると感じており、子育て支援、高齢者福祉、防犯・防災など、様々な分野で「つながり」が重要となっています。

そこで、青葉区では、人と人、世代間など、様々な形での「つながり」を重視して事業に取り組んでまいります。「つながりのあるまち青葉」をめざして、また、「住みたい、住み続けたいまち青葉」をめざして、平成22年度は7分野49事業を実施してまいります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】	合計：147,284千円
1 子育て支援を充実します	25,554千円
子育て世代が多い青葉区において、子育てをきめ細かく支援する施策を身近な地域で展開します。	
《主な事業》子育て支援ネットワーク事業（重）、ひろばdeプチ保育事業（重）	
2 福祉・保健を充実します	10,133千円
地域における福祉保健機能の充実を図るとともに、健康づくりや長寿のまちづくりの支援を推進します。	
《主な事業》地域福祉保健ステップアップ事業	
3 環境を守り、まちづくりを進めます	14,602千円
区民の皆さまと農地や樹林地を守り生かす活動、脱温暖化行動への取り組むとともに、個性と魅力あるまちづくりのための地域課題を、地域の方と取り組み、次世代に引き継ぐまちづくりを進めます。	
《主な事業》青葉みらい農くらぶ、「丘のエコハマ」省エネ大作戦事業	
4 区民とともに魅力・活力を発信します	23,403千円
地域課題を区民の皆さまと協働で解決していくとともに、多種多様な担い手による市民力が最大限に発揮されるよう、市民活動を総合的に支援します。	
《主な事業》芸術文化振興事業、横浜北部美術公募展開催事業	
5 暮らしの安全・安心を支えます	13,804千円
地域が主体となって行う「防犯」「防火」「防災」などの活動に対して、情報提供や制度の充実を図り、安全・安心のまちづくりに向けた様々な課題について地域とともに取り組みます。	
《主な事業》かおの見える地域づくり事業（重）、地域安全支援事業	
6 青葉らしいサービスを提供します	32,915千円
青葉区の特色や区民ニーズに応じた青葉独自のサービスを提供し、区民満足度の向上を図ります。	
《主な事業》郵便局による証明発行窓口サービスモデル事業、メディアによる広報事業	
7 区民に親しまれる区役所を目指します	26,873千円
わかりやすい窓口、親切丁寧で迅速な対応など、区民に身近な行政機関として親しまれる区役所を目指します。	
《主な事業》区民サービス向上事業、青葉区政白書発行事業	

【区局連携事業】

合計：6,015千円

- ・ 田園都市駅周辺のまちづくり計画策定事業（4,000千円、都市整備局）
- ・ 図書サービス拡充事業（2,015千円、教育委員会事務局）

予算編成の考え方

“～区民とともに 地域とともに～ とともに育つまち つづき”

都筑区は、平成 21 年 1 月に 15 周年を迎えました。誕生の際には、約 11 万であった人口も、間もなく 20 万人に達する見込みです。区内には、緑道や公園など豊かな自然環境に恵まれているとともに、市内有数の農業地域、工業地域さらには大規模商業施設を有するなど多様な顔をもつ“まち”でもあります。また、区民の平均年齢は 18 区で最も若く、子育て世代が多いことも特徴です。

こうした区の特徴を踏まえ、さらに発展ができるよう、平成 22 年度予算においては『子育て支援』、『地域力の向上と市民活動の活性化』、『緑の保全』、『区内産業の支援』を重点事業として取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：133,591千円

1 子育て支援、福祉・保健の充実

38,192千円

安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、「都筑区地域福祉保健計画」の推進及び次期計画の策定や認知症対策など支えあいのまちづくりを進めます。

《主な事業》こども・青少年育成計画推進事業(重)、「つづき あい」推進事業

2 地域力・区民力の向上

28,220千円

自治会町内会の加入促進、文化・スポーツ・市民活動や区内産業への支援などを通して、市民活動や区内産業の活性化を図り、活気があるまちづくりを進めます。

《主な事業》あいちゃんボランティア推進事業(重)、メイドインつづき推進事業(重)、地域活動推進事業

3 快適で暮らしやすいまちづくり

18,174千円

脱温暖化に向けて緑地や農地の保全・整備を進めるとともに、地域の皆様が行う公園や緑道の美化活動に対する支援など快適に暮せるまちづくりを進めます。

《主な事業》つづき緑アップ推進事業(重)、クリーン・G30都筑区推進事業、

4 安全・安心なまちづくり

13,450千円

区内の危機管理体制を整えるとともに、地域の防犯力、防災力向上のための支援体制を整え、区民が安心して暮せるまちづくりを進めます。

《主な事業》都筑区危機管理対策推進事業、地域防犯推進事業

5 区民満足度向上に向けた区役所の取組

35,555千円

区民満足度向上のため、窓口サービスの改善、区民への積極的な情報提供を行います。

《主な事業》区役所運営・改善推進事業、区民広聴相談事業、区民への情報提供事業

※参考【区局連携事業】

合計：5,000千円

・水位計・ライブカメラの設置及び水防災システムの改修事業(5,000千円、道路局)

予算編成の考え方

～ともに つくる かがやく とつか～

戸塚区では、戸塚駅周辺の新たなまちづくりに向けた市街地再開発事業や土地区画整理事業などが進められる一方、区内各地では、高齢化の進展やマンション建設に伴う子育て中の世帯の増加など、地域により特性が大きく異なってきています。

平成 22 年度は、こうした戸塚区の特性を踏まえつつ、厳しい財政状況のもと、緊急性の高い事業に財源を集中し、区民との協働を基本とした 5 つの施策と区民満足度の向上に取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：149,366千円

1 地域力の発揮への支援

24,580千円

地域で暮らし、活動する方々が主体となって、身近な生活課題について話し合いながら解決に取り組み、よりよい地域をつくっていけるよう支援を行っていきます。

《主な事業》区民力発揮促進事業(重)、地域文化振興事業

2 脱温暖化行動の推進

9,910千円

『CO-DO30 横浜市脱温暖化行動方針』を踏まえ、区の特性を活かしつつ、区民や数多くの活動団体、学校、企業等の参画を得ながら、区民の皆さんの生活に脱温暖化行動が定着することを目指します。

《主な事業》とつかエコライフ事業、戸塚区脱温暖化行動普及啓発事業

3 暮らしに身近な危機管理の強化

14,539千円

区民の皆さんがより安心して生活することができるよう、行政・地域・団体等が連携して、災害に対して日頃から備える取組や、子どもやお年寄りを含めた社会全体を犯罪から守るための活動などを進めます。

《主な事業》地域防災力強化事業、防犯力強化事業

4 市民主体の健やかな地域づくり

26,990千円

身近な地域で区民の皆さん一人ひとりが、主体的に、かつ楽しく継続して健康づくりに取り組めるように、幅広い関係者による仕組みづくりを進め、健康づくりを通じた地域のコミュニティの活性化を目指します。

《主な事業》とつか健康ひろげ隊事業(重)、とつかハートプラン推進事業

5 地域ぐるみのいきいき子育て支援

21,743千円

次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、区民や活動団体、幼稚園・保育園・小学校等の関係機関と連携しながら、子育てしやすい環境づくりを進めていきます。

《主な事業》地域で子育て応援事業(重)、障害児・者余暇活動支援事業

【区民満足度向上に取り組む区役所づくり】

51,604千円

戸籍、税、福祉保健、保険年金などの基本業務の適正な事務執行を行うとともに、区民の皆さんの立場に立った対応を進め、利便性の向上を図ります。

《主な事業》税務窓口サービス向上事業、東戸塚地区での図書サービス事業

予算編成の考え方

**「あなたが主役の元気なまち・栄区」
～栄区まちづくり行動計画のスタートダッシュ～**

「誰もが暮らしやすく、活力ある栄区」を次世代へつないでいくために、『栄区まちづくり行動計画』の趣旨である、栄区が将来にわたり活力と活気のある元気なまちであり続けるために、中期的に目指すこと、優先すること、今何をしなければならないのかということに重点を置きました。

また、すべての事業の必要性を徹底して検証し、見直しと経費の縮減を図り、必要な事業には十分な配分を行うなど、施策の選択と集中、柔軟で実効性のある予算編成を行いました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 **合計：138,887千円**

1 若者を呼び戻し、活力・活気と元気がつながるまちへ **47,221千円**

子育てしやすいまちづくりを推進し、まちの魅力アップにつながる取組をはじめ、支えあいでの活力あるまちづくりに取り組みます。

《主な事業》さかえ次世代交流ステーション（仮称）運営事業（重）、未来に羽ばたけさかえっ子事業、子育て支援事業

2 栄区の活発な区民活動をつないで、更に豊かなまちへ **38,151千円**

安全・安心なまちづくりの新たな手法「セーフティプロモーション」を実践する取組をはじめ、活発な栄区の区民活動の横のつながり、連帯に重点を置き、健康で安全な暮らしのための区民活動を支援します。

《主な事業》セーフコミュニティ事業（重）、「団地DEお互いさまねっと」推進事業、区民活動支援事業

3 豊かな水・緑・自然環境を次世代へつなぐまちへ **21,475千円**

栄区らしい「地球にやさしい取組」を着実に区民に拡げる取組をはじめ、G30のステップアップや、栄区の財産「水とみどり」を区民とともに次世代に継承することに取り組みます。

《主な事業》地球にやさしいまち 栄 推進事業（重）、G30で未来に残そうやさしい地球事業、栄区農 “know” 事業

4 仕事力アップへ・・・地域のための区役所づくり **32,040千円**

横断的な体制で、柔軟に地域支援に取り組みます。また、職員一人ひとりが、区民に親しまれる区役所づくりを継続・実践していきます。

《主な事業》広聴事業、親しまれる区役所づくり

※参考【区局連携事業】 **合計：12,000千円**

・さかえ次世代交流ステーション（仮称）開設事業（12,000千円、こども青少年局）

予算編成の考え方

区民とともに歩む泉区政 “元気の出る泉区づくり”

平成22年度は、厳しい財政状況を踏まえ、すべての事業について徹底的な見直しを行うとともに、泉区の特質や地域ニーズを的確にとらえ、「市政運営の基本的な考え方」を具体化する取組を推進します。区内12地区に設置されている地区経営委員会による地域課題の解決に向けた自主的・主体的な取組を支援します。

編成にあたっては重点施策として6つの柱を設定し、それぞれの施策を実現するために41事業の予算を計上しました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：138,183千円

1 地域主体の地域運営・まちづくり

37,470千円

地区経営委員会による自主的・主体的な課題解決に向けた取組を支援するとともに、外国にルーツを持つ区民に対するコミュニケーション支援や子育て支援など多文化共生のまちづくりに向けた取組を推進します。また、地域住民や関係団体と協働し、第2期泉区地域福祉保健計画の取組を推進します。

《主な事業》「地域主体の地域運営」推進事業(重)、多文化共生事業(重)、泉区地域福祉保健計画推進事業

2 泉区の魅力づくり・魅力の発信

8,473千円

泉区の特長である農業の魅力を区内外に発信し、泉区ファーマーズマーケット“ハマッ子”を拠点に地産地消を促進するほか、地域資源である河川を活かした水辺魅力アップ事業を展開します。

《主な事業》農を生かしたまちづくり事業、水・緑・みち魅力づくり事業

3 脱地球温暖化の推進

10,928千円

泉区の貴重な財産である水や緑を維持・保全するとともに、泉区地域協議会から答申を受けた脱地球温暖化行動の取組として、校庭・園庭の芝生化の推進をはじめとする地域との協働の取組を推進します。

《主な事業》エコ体験・実感推進事業、泉区の水や緑を守り創造する事業、泉区G30推進事業

4 安全・安心なまちづくり

26,474千円

独居高齢者等地域の要援護者を見守り支え合うまちづくりを進めるためのモデル事業を展開するほか、泉区地域協議会から答申を受けた災害時要援護者対策の推進に区民全体で取り組みます。

《主な事業》独居高齢者等地域見守りモデル事業(重)、防災対策事業、地域安全まちづくり事業

5 子育てがしやすい環境づくり・女性が働きやすいまちづくり

10,129千円

区内事業者や区民に対する啓発及び職場復帰支援などの取組を通じて、子育てがしやすい環境づくりや女性がいきいきと活躍できる働きやすい職場づくりを支援する事業を展開します。

《主な事業》女性の働きやすいまちづくり事業、健やかいずみっこ子育て支援事業

6 元気ある区政運営に向けた取組

44,709千円

区庁舎の窓口案内などに区民の参画を得て、区民の目線からの提案を区政に活かすとともに、区民がわかりやすく利用しやすい身近な区役所の実現を図ります。

《主な事業》窓口案内ボランティア・編集サポーター事業、区役所好感度向上事業

※参考【区局連携事業】

合計：5,000千円

・せせらぎ緑道再整備事業(5,000千円、道路局)

予算編成の考え方

～ 幸せが実感できる瀬谷づくり ～

瀬谷区の22年度予算は、限られた予算を最大限に有効活用するため、次の基本方針に従って編成しました。

- ①全ての既存事業をゼロベースで徹底的に見直します。
- ②各分野・各所属の枠を超えて、これまで区制40周年に向けて培ってきた地域のつながりを十二分に活用するなど、横断的な視点で事業を検討します。
- ③事業を「6本の柱」に分類・明確化するとともに、「区民の活力」を引き出すなどの特に重点的に取り組む事業や、横断的な事業に関しては、優先的に予算を配分します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：127,424千円

1 区民の活力を活かしたまちづくり

20,028千円

日常生活における見守りや災害時の助けあいなど、地域住民相互の支えあいを支援し、「区民の活力」を活かしたまちづくりに取り組みます。

《主な事業》 地域支援事業(重)、区民活動支援事業

2 誰もが安心して暮らせる福祉保健の推進

12,566千円

誰もが安心して暮らせるよう、福祉保健団体等への支援や、健康づくりに対する啓発活動などに取り組みます。

《主な事業》 高齢者支援拠点モデル事業(重)、障害者支援ネットワーク推進事業

3 安全で快適なまちづくり

8,597千円

災害対策の充実を図るとともに、地域で取り組む防犯活動への支援を行うなど、安全なまちづくりに取り組みます。

《主な事業》 災害等対策事業、まちの安全支援事業

4 未来の担い手育成の支援

14,395千円

未来を担う子どもたちが健やかに育むための支援を行うとともに、複合的な生活課題を抱える子育て家庭への支援などを行います。

《主な事業》 支えあい家族支援事業(重)、次世代育成支援事業

5 水と緑をはじめとする瀬谷らしい魅力づくり

14,883千円

温暖化防止に向けた区民の環境行動を支援するとともに、ごみのない美しい瀬谷のまちづくりを推進します。また、いつまでも暮らしたくなるような魅力あるまちづくりに取り組みます。

《主な事業》 環境行動推進事業、美化・資源化推進事業

6 様々な行政活動を行うための基盤

56,955千円

幸せが実感できる瀬谷づくりに向けて、職員のスキルアップを図るとともに、さまざまな手法により区民サービスの向上を図ります。

《主な事業》 瀬谷区証明発行サービス事業、職員応対力等向上事業

2010年日本APEC

11月7-14日

横浜開催

